

1日集中の実習で体得する！ 正しい「設備保全」と「計画保全」で 稼働率を向上する実践的手法

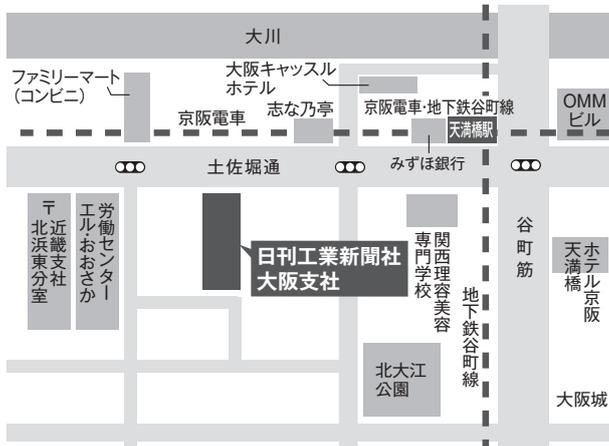
～設備保全の技術・技能の洗い出し方から作業手順・チェックシートの作成法まで～

日時 2021年2月16日(火) 10:00～17:00 (9:30 受付開始、休憩 12:30～13:30)

会場 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場 大阪市中央区北浜東 2-16

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込) ※同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円
※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)

大阪会場 (日刊工業新聞社 大阪支社10階)
大阪市中央区北浜東2-16 TEL:06(6946)3382



*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分

■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、
京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口

■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEB
サイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。
(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、
下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない
場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 総合事業局 セミナー事業部

TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

受講 申込書

2/16 機械保全チェック

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

| | | | |
|-----|-------|--------|---|
| 会社名 | フリガナ | 業 種 | |
| 氏名 | フリガナ | TEL | |
| | 部署・役職 | FAX | |
| 所在地 | 〒 | E-mail | ※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> |
| 備考 | | | |

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

No.202215

開催主旨

生産現場にある生産設備の保守メンテナンスをどのように社内で伝承するかが課題になっています。この課題を解決する手段の一つで生産現場に必要な保守保全方法を確立することが先決になります。生産現場の保守保全方法を解決するために、生産現場にある設備を機械要素部品に区別して技能と知識に区別にして洗い出すチェックシートを作成することが課題解決の近道になります。また、チェックシートの作成はISOの力量評価表にも対応することもできます。また、チェックシートを参考にしながら、生産設備がトラブルを起こしたときにトラブルの原因を突き止めることができます。

※受講者へは講師著書「目で見てわかる機械保全チェックシートのつくり方・使い方」（日刊工業新聞社）を受講当日配布します。

講師

高度ポリテクセンター 勤務、東京都現場訓練支援事業の指導者 **竹野 俊夫** 氏

【略歴】 1965年、大阪府生まれ。1990年、労働省管轄職業訓練大学学校卒。1991年、雇用促進事業団（神奈川技術開発センター勤務）、1999年より国際協力事業団へ出向（インドネシア、ウガンダへ派遣）、2003年より雇用・能力開発機構（千葉センター勤務）、2008年より高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度ポリテクセンターに勤務する。現在は、素材・生産システム系開准教授、素形材関係団体の講師、防衛省陸上自衛隊（技能・整備）予備自衛官（階級2等陸曹）、東京都墨田区商工業アドバイザー（現 東京都現場訓練支援事業の指導者）を務める。
企業の工場設備の保守メンテナンス方法や機械保全方法を現場で指導し、改善提案や設備の延命につながる職業訓練を展開する。国際協力事業団（JICA専門家）でアフリカ（ウガンダ）、インドネシアにおいて小型船舶エンジン・自動車整備を指導。また、現地飲料水工場、砂糖工場、ビール工場などで生産設備の保守・保全方法を現地スタッフに指導。防衛省陸上自衛隊では、日本国内が大規模災害や有事の際、装備品や車両などの整備を行う。墨田区商工業アドバイザー（現 東京都現場訓練支援事業の指導者）として、東京都墨田区内の中小企業への技術支援や現地改善指導などを行っている。
著書に「目で見てわかる 稼げる機械保全」（2011年）、「目で見てわかる 稼げる電気保全」（2012年）、「目で見てわかる 稼げる設備保全」（2012年）、「目で見てわかる機械保全 実践100例」（2013年）「目で見てわかる機械保全チェックシートのつくり方・使い方」（2014年、いずれも日刊工業新聞社）がある。

プログラム

PART1 設備保全の概要を理解する！

- 1-1 設備保全とは
- 1-2 設備保全を行う目的と意義
- 1-3 設備保全を工場内で行うには
- 1-4 設備保全に必要な技能・技術
- 1-5 生産設備に使用される主な設備
- 1-6 設備保全と計画保全
- 1-7 計画保全の進め方
- 1-8 計画保全を効率よく行うには

※生産設備を効率良く計画保全を行うために必要な技術・技能の洗い出し方を解説します。

PART2 設備保全と作業手順を理解する！

- 2-1 設備保全に必要な作業手順
- 2-2 設備保全に必要な作業工具
- 2-3 適切な作業工具の使い方
- 2-4 作業手順に必要な技能・技術
- 2-5 設備の作業手順書の作り方
- 2-6 設備を延命する設備保全

※生産現場で設備保全に必要な作業手順の考え方と作成方法を、動画を通して作成します。

PART3 設備保全を効率よく行うためのチェックシートを理解する！

- 3-1 チェックシートを作成するために必要な知識（技術）・技能
- 3-2 チェックシートの作成方法
- 3-3 生産現場でチェックシートを作成するには
- 3-4 機械要素部品ごとのチェックシート
- 3-5 チェックシートの難易度の決め方
- 3-6 作業分解とは
- 3-7 チェックシートを用いた人材育成
- 3-8 設備保全にチェックシートを用いて技能伝承するには

※チェックシートの作成法とチェックシートにもとづく保全実施例に加え、それを用いた人材育成および技能伝承の方法を紹介いたします。

PART4 空気圧装置の保全技術を習得する！

- 4-1 空気圧装置とは
- 4-2 空気圧タンクの保全方法
- 4-3 空気圧配管の保全方法
- 4-4 エアー3点セットの保全方法
- 4-5 空気圧シリンダと空気圧モータの保全方法
- 4-6 空気圧装置の損傷事例
- 4-7 空気圧装置の計画保全

※空気圧装置の構造の理解に向け、エアシリンダ・エアレギュレータ・方向制御弁などを分解しながら内部構造を把握します。併せて、事例を通じて、スピードコントロール弁やレギュレータの利用方法などを紹介し、空気圧装置の回路を理解します。また、空気圧装置に必要な技能・技術の洗い出し方などを習得します。また、チェックシートを参考にして空気圧装置のトラブルについて原因分析事例を紹介いたします。

PART5 動力伝達装置の保全技術を習得する！

- 5-1 動力伝達装置とは
- 5-2 減速機の保全方法
- 5-3 チェーンとスプロケットの保全方法
- 5-4 Vベルトの保全方法
- 5-5 軸継手の保全方法
- 5-6 動力伝達装置の損傷事例

※チェーンやVベルトなどの損傷原因などを、事例を通じて解説。チェーンやVベルトの交換時期などを、損傷した実物を通して説明します。また、チェックシートを参考にして動力伝達装置のトラブルについて原因分析事例を紹介いたします。